

されました。特に1名は4ヶ月の乳児でした。4名に筋注用γグロブリンを使用して、軽症化に成功しております。1歳未満の麻疹患者さんを診察しますと、米国のように乳児からの予防接種の必要性が感じられます。1歳になったらまず麻疹の予防接種をしましょう。続けておたふく、水痘、風疹の順でしょうか、お勧めコースは、

**早くも出現夏風邪感染症はこれから大流行?** 夏風邪の代表格は腺管ウイルスである、コクサッキーウイルス、エコーウイルス、エンテロウイルスによるヘルパンギーナ、手足口病等、さらにアデノウイルスによる咽頭炎、流行性角結膜炎、咽頭結膜炎です。手足口病・ヘルパンギーナは6月になって徐々に増加が見られてきています。1夏に2〜3回罹患することもあります(もちろんそれぞれ別々のウイルスです。)。ご用心下さい。アデノウイルスも増加しています。咽頭と球結膜が同時に赤くなるとプール熱とも呼ばれます。他の夏風邪ウイルスに比べて、頭痛・腹痛が強く、咽頭の発赤の割にはヘルパンギーナより咽頭痛が軽いようです。アデノウイルスはインフルエンザに似て、時に肺炎など重症化することがあります。OCFCではアデノウイルス感染症の診断が迅速検査により15分でできます。

マイコプラズマ肺炎も強敵です。4日以上続く発熱、頑固な咳がある場合はマイコプラズマ肺炎を疑いましょう。検査をして特效薬の抗生剤を服用すれば入院の必要はありません。OCFCで診断された方は3ヶ月間で11人で、皆様外来通院で回復されています。

## 病診連携

入院依頼は3ヶ月間で8名でした。東邦大学には肺炎、社保蒲田総合病院には産科と肺炎・麻疹、大森日赤にはおたふくかぜ+脱水、日赤医療センターには尿路感染症、髄膜炎の疑い(2ヶ月児)、昭和大学神経内科には眩暈で依頼しました。その他東邦の外来を紹介して点滴治療を受けられた方もいらっしゃいます。検査依頼は東京医科歯科大学小児外科に血尿、東京専売病院には低身長で紹介しております。

OCFCへの検査診療依頼は東京女子医大から免疫不全症の診断依頼があり、診断を行っています。また東邦医大、昭和医大、荏原病院の小児科より喘息患児の管理・治療依頼が8名ほどありました。OCFCでは前記の施設とタイアップしてどちらの施設でも同等の医療が受けられるようになっています。OCFCがお近くの方はそれぞれの施設にお申し込みになり、紹介状をもらってきてください。

## 点滴コーナー

OCFCで点滴を受けられる方は月に20人を超えています。主な疾患はマイコプラズマ肺炎・気管支喘息・慢性肺疾患等の呼吸器疾患で半数を超えています。

また嘔吐下痢に伴う脱水症も約半数で、重症の麻疹・薬疹、麻疹の方にも点滴を行っております。院内で点滴を行なった方で紹介入院となった方は3名でした。

OCFCでは呼吸困難を訴える乳幼児の方に吸入器を無料で貸し出してあります。どうぞご利用下さい。

## 電話予約について

当クリニック(OCFC)では患者さんの待ち時間短縮のため予約制を採用しています。できるだけ電話にて予約を取られるようお願いいたします。空き状況をお聞きの際は、かけなおして予約をお取りください。予約希望時間が詰まっている時は希望時間に近い時間帯をご案内いたします。希望時間が取れない方は直接御来院頂ければ順番にて診察いたします。慢性疾患などで十分な説明をご希望の方は電話で直接お尋ねください。

### ■サービスコード

項目	サービスコード	項目	サービスコード	項目	サービスコード	項目	サービスコード
小児科一般	11#	乳幼児健診	16#	2種混合	22#	おたふくかぜ	27#
内科一般	12#	健康診断	17#	麻疹	23#	日本脳炎	28#
アレルギー/慢性疾患	13#	検診	20#	風疹	24#	その他	29#
感染症	14#	取消	30#				
予防接種	15#	3種混合	21#	水痘	25#		

予約の空き情報は40#でご案内いたします。予防接種(15#)を押した方はさらにサービスコードで希望される項目を指定して下さい。サービスコードの確認を、よろしければ0# 調べていれば#で行って下さい。